

**Q** 平成30年度の保険料率  
引き上げについて、概  
要を教えてください。

**A** 将来的な組合運営の継続を目的  
として、健康保険料率を8.9%か  
ら9.5%へ引き上げることとし  
ました。

過去8年間保険料率を変えずに、財源不  
足は積立金を取り崩して補填してまいりましたが、  
平成29年度は4年連続の赤字決算の見込みです。  
さらに、加速する高齢化により、今後も高騰を続  
ける医療費や納付金等の支出を積立金の補填で賄  
いきれなくなることが見込まれるためです。  
介護保険においては、財源不足は積立金を取り  
崩して補填し、保険料率引き上げは見合わせます。

**Q** 保険料率の引き上げにより、  
組合財政は安定するのでしょうか？

**A** 被保険者（社員）数の減少により、保険料率の引き上げで  
赤字は減少するものの、積立金を取り崩して財政運営をして  
いくことは避けられません。皆さんにおかれましては、医療  
費の節減にご協力いただきますようお願いいたします。

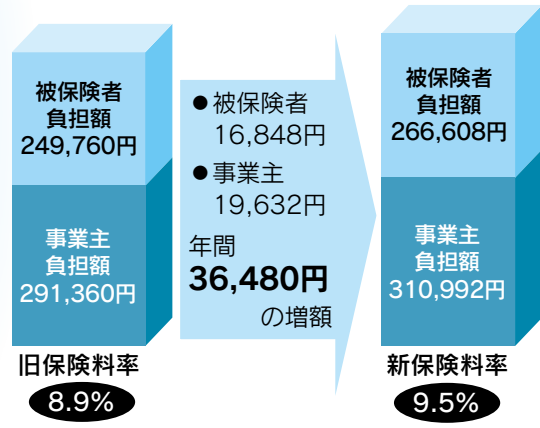
なお、介護保険においては、平成30年度末の積立金残高が法定水準へ迫る  
見込みのため、平成31年度の保険料率引き上げについて、検討が必要な状況  
です。

	ミサワ健保		協会けんぽ(参考)
	平成29年度	平成30年度	平成30年度(平均)
健康保険料率	8.9%	9.5% (+0.6%)	10.0%
介護保険料率	1.4%	1.4% (±0.0%)	1.57%
合計	10.3%	10.9% (+0.6%)	11.57%

**Q** 保険料率の引き上げにより、  
負担はどのくらい増えるのでしょうか？

**A** 給与・賞与から差し引かれる  
保険料は、被保険者と事業主(会  
社)とで負担し合っています。  
保険料率9.5%のうち、被保  
険者負担分は43.85%、事業  
主負担分は56.15%です。

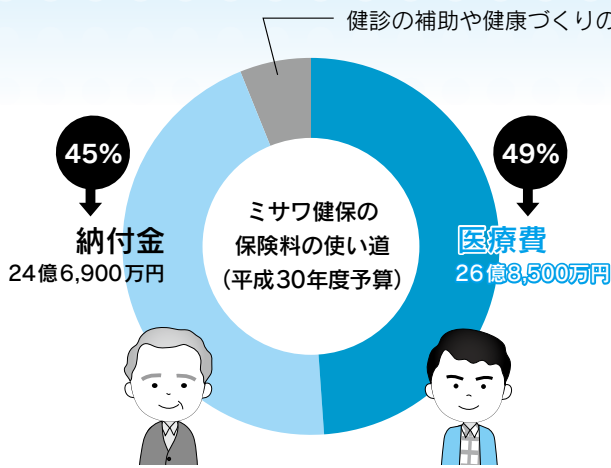
例・年収600万円の方の年間保険料



# 長に聞く！

## の財政について～

増進、医療費の  
節減にご協力ください！



りを取り組み健康状態を維持・改善すること、適切に医療機関にかかっただけで減らすことが可能です。一方、高齢者医療への納付金のほとんどを占める、75歳以上の医療費にあてられる「後期高齢者医療」の医療費にあてられる「前期高齢者納付金」の負担額の算出の仕組みと、減らす方法は次のとおりとなります。

A

平成30年度の保険料収入は、皆さんの医療費などが49%、高齢者医療への納付金が45%と、94%がこの2つで消えています。皆さんの医療費は、皆さんが、日々、健康管理や健康づくりに取り組む健康状態を維持・改善すること、適切に医療機関にかかっただけで減らすことが可能です。一方、高齢者医療への納付金のほとんどを占める、75歳以上の医療費にあてられる「後期高齢者医療」の医療費にあてられる「前期高齢者納付金」の負担額の算出の仕組みと、減らす方法は次のとおりとなります。

Q

保険料収入のほとんどを占める医療費と納付金、減らす方法はあるのでしょうか。

$$\text{後期高齢者支援金} = \text{ミサワ健保の標準報酬総額} \times \text{拠出率}$$

$$12\text{億}1,300\text{万円} = 564\text{億円} \times 2.15\%$$

各健保組合の健康管理・健康づくりの取り組みにより、加算・減算されます。特定健診・特定保健指導の実施率やジェネリック医薬品の使用率などが総合的に判定され、上位の健保組合になると、支援金を減らせる可能性があります。

$$\text{前期高齢者納付金} = \text{ミサワ健保の前期高齢者医療費} \times \text{加入調整率}$$

$$12\text{億}3,000\text{万円} = 1\text{億}1,200\text{万円} \times 11$$

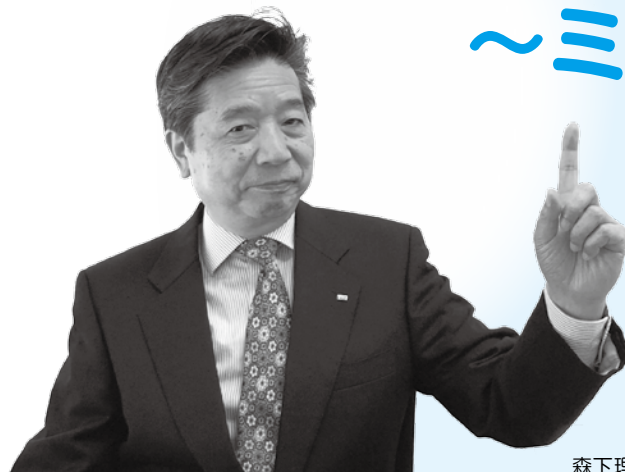
ミサワ健保に加入する前期高齢者（65～74歳）の医療費を減らすことで、納付金を減らすことができます。ジェネリック医薬品を積極的に選択したり、年に一度は健診を受けて病気の早期発見・早期治療で重症化の予防をお願いいたします。

## 保険料率を引き上げました

# 森下理事

## ～ミサワ健保

健康維持・



森下理事長

Q

これ以上、保険料率が上がらないようにするためにどのような施策を考えていますか？

A

平成30年度は、皆さん、事業主の負担増に対して、「満足いただけるサービスを提供する」ことに注力してまいります。事業主とコラボ（協力）し、被扶養者（ご家族）を含めた健診受診率の向上や生活習慣改善の促進などがテーマです。随時、健康情報の配信や健康イベントなどを開催し、皆さんのヘルスリテラシーを啓発してまいりますので、皆さんも健康管理や健康づくりに取り組んでいただきますようお願いいたします。